



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第11号

令和3年9月30日発行

文責 校長 宮地 浩幸

ほんわかタイム（富川先生）

9月14日（火）、富川先生によるほんわかタイムを実施しました。今回、富川先生は富士山への登山を題材にお話をしてくださいました。日本の霊峰富士山は昔から信仰や芸術の中心をなしていました。だから富士山は世界文化遺産なのです。

さて、富川先生が子ども達に質問した内容は「富士山に登りたいか？」です。日本で最も高い山は3776m。飛行機は10000mくらいを飛行しますので。その1/3くらいまで登ることになります。また、富士山にはいつでも登れるわけではなく、その期間が決まっています。校長も富士山に登ったことはありません。新幹線の中から何回か見たことはありますが、近くで見るとびっくりするくらいの大きさです。富川先生はお友達と登ったことがあるそうです。頂上から見える景色を想像するだけでワクワクします。子ども達も同じように感じたかもしれません。ところが、富士山に登ることは、危険との隣り合わせの部分があります。それは標高が高いため、気温が低い事、空気が薄い事です。だから、知識と経験が不足している人は、最後まで登ることができずにリタイアしてしまいます。知識と経験に基づいた準備を怠らずに挑戦することが大切と話をされました。そして、この話をきっかけにして、「何でも新しいことに挑戦して欲しい。ただし、準備を怠らないこと。必ず振り返り（反省）をすること。」を伝えられました。



スズメバチの巣

2学期が始まる前に、小学3、5年生のクラスの整備をしていると換気扇のところに、スズメバチの巣を発見しました。すぐに市民センターから駆除に来ていただき、大事に至らず、スムーズに新学期を迎えることができました。害虫による被害は、1学期ツバキの木に大量発生したチャドクガによるものもありました。校長は理科の教師でしたので、自然の災害も恩恵も正しく指導する立場にありました。従って、自然豊かな環境の中では、スズメバチの巣がどこにあっても不思議ではありません。しかし、本来スズメバチは雑木林などに巣をつくる場合が多く、都市部に見られることはほとんどありませんでした。

前の学校でも、アシナガバチが巣をつくることはあっても、スズメバチが巣をつくるのはほとんど見たことがありません。アシナガバチよりもスズメバチが大きいので、恐怖感も増します。だからスズメバチの巣を見つけたとき、職員も「何で学校に巣をつくるんだ。」と考えたに違いありません。しかし、スズメバチはとても厄介者のようなイメージですが、その生命力、パワーを借りて運気を上げようと考え、



玄関にスズメバチの巣を飾ると縁起がいいとされました。また、スズメバチの幼虫は栄養価が高い事から山の中でのたんぱく源として重宝されたのです。人間は賢いもので上手く自然と調和し、自然を利用する方法を考えてきました。自然豊かな場所に生活するゆえに英知を働かせたいものだと今回の件で感じました。ただくれぐれも、害虫には気を付けて、近づかないようにしましょう。

臨時休校（台風は大丈夫だったでしょうか）

9月17日（金）は台風14号の接近により、唐津市内の小中学校は唐津市教育委員会の指示により一斉休校となりました。子ども達の来ない学校に出勤し、いろいろと事務作業をしながら、1日の天気の変化を観察するとともにインターネットで台風情報を頻繁に見ていました。午前中は雨風ともにあまり大したことはありませんでしたが、午後から急に雨も風も強くなりました。校長室からは海がかなりしけている様子が窺えました。また、南風が強く南に面している校長室の窓ガラスは吹き飛ばされるのではと思えるくらい恐怖を感じました。今回の台風は、発生してしばらくして猛烈なまでに発達しましたが、九州に近づく頃は勢力も衰えて、暴風域もなくなっていました。あまり強くないのではないかと希望的観測でいましたが、海に面しているためか、普段でも島風が強いことを思えば至極当然なのですが、完全に否定されました。子ども達の安全面を考え、今回の臨時休校は適切な判断だったと安堵したところです。

ところで、臨時休校の時の子ども達の生活の様子はどうだったでしょうか。しっかり家庭学習に励むことができたでしょうか？時間を無駄にしない適切な行動は、これからの予測不可能な社会を生きるためにとっても大切なことだと思います。



焼き物体験



9月21日（火）に児童生徒全員で北波多岸山の「三帰庵」へ焼き物体験に行きました。加唐島を離れ校外で学習することは子ども達にとってかなり楽しみのようでした。

土を煉って思い思いの器を仕上げていきます。想像力を働かせ、黙々と作業を進めていきます。果たしてその出来栄はいかがだったでしょうか。10月6日（水）にもう一度作業を行

い完成します。子ども達の作品をご家庭でも楽しみに待っててください。体験活動を済ませ、昼食をとった後は、遊具で遊びました。とても長い滑り台や草スキーをして遊びました。いい思い出ができたようです。なお作品については文化祭で展示予定です。島民の皆様も是非ご覧ください。



1人1台学習用タブレット配布

いよいよ、学習用タブレットが配布されました。9月22日（水）に、堤先生にその使用についてのオリエンテーションをしていただきました。使用上のルールをしっかりと守り、大切に取り扱ってください。

説明を受けて、小学校の低学年の子ども達は、自分に充てられたPCを手に取り、電源を入れたり、アプリケーションを立ち上げたりするだけで歓喜の声が上がり、今後の学習に対してワクワク感が高まったことが手に取るようにわかりました。是非学力向上に役立てましょう。